

「高オレイン酸含有ダイズ DP-305423-1、除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統及び除草剤ジカンバ耐性ダイズ MON87708 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に食品健康影響評価が終了した除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統及び除草剤ジカンバ耐性ダイズ MON87708 系統を掛け合わせた品種を除く。）」に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成29年12月13日～平成30年1月11日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 2通
4. 意見・情報の概要及び食品安全委員会の回答

意見・情報の概要	遺伝子組換え食品等調査会の回答
<p>遺伝子組み換えに関して日本では世界で突出する数の承認がなされていますが、私ども消費者は、動物実験による発がんや健康悪化に、人間にも被害があることを懸念しています。</p> <p>米国の農地ではラウンドアップで枯れないスーパー雑草が発生し広がり、ラウンドアップに枯葉剤を混ぜると枯葉剤耐性のスーパー雑草が発生するという悪循環で農薬使用の増加と土壌の悪化を招いているようです。そのためアメリカでは反対運動も起きています。</p> <p>このまま許可を続ければ、日本人の健康被害が心配されます。ぜひ承認を中止し、厳しく検討いただくことを希望します。</p>	<p>食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に食品に含まれる可能性のある危害要因が人の健康に与える影響について食品健康影響評価を行っています。</p> <p>本ダイズについては、「遺伝子組換え植物(種子植物)の安全性評価基準」(平成16年1月29日食品安全委員会決定)に基づき、評価を行った結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断しました。</p> <p>なお、遺伝子組換え食品の承認に関する御意見及び農薬の使用増加と土壌の悪化に関する御意見は、リスク管理に関するものと考えられることからそれぞれ厚生労働省並びに農林水産省及び環境省へお伝えします。</p>

<ul style="list-style-type: none">○食品安全委員会の専門委員の人員数の削減について○人間と動物の食物消化の差異について○動物実験について	<p>いただきました政策提案は、本食品健康影響評価の審議結果案に関係しないと考えられましたので、一般的な食品安全委員会に対するご意見として承りました。</p>
---	---